

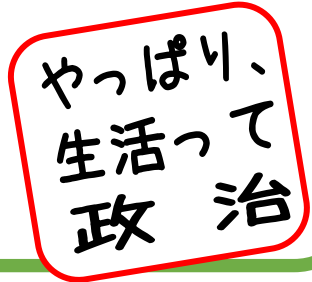


いのちと平和を
守ります

ふくおか市民政治ネットワーク・福津

女性がつくる新しい政治！

代表/倉田 玲子 代理人/田中 じゅんこ (福津市議会議員)
〒811-3217 福津市中央 2-2-1 TEL・FAX 0940-42-2973
E-mail fukutsu@fnet.gr.jp HP : <http://www.fnet.gr.jp>



教育機会の確保法って何？

※正式名称は「義務教育の段階における
普通教育に相当する教育の機会の確保等に関する法律」



学校外での多様な学びの場を提供することを目的とした法律

学校復帰だけを目標とする
んじゃないくて、社会的自立を
めざした支援をするよ

不登校なのが問
題じゃないよ

休息も必要
だよ

学校外の学び
場も重要だよ
(塾じゃないよ)

子どもの育ち
に必要な情報
を提供するよ

昨年9月・12月議会の一般質問で取り上げた、“不登校・ひきこもり”問題の中で話題にしてきた法律です。
今回、多様な学びの場の実践者や研究者が集い、実践を支える制度作りについて考えるフォーラムが開催されました。

第6回 多様な学び 実践研究フォーラム in 九州 報告

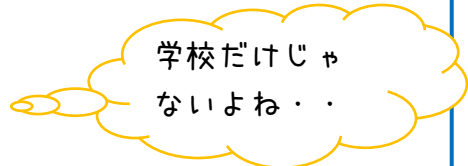
福津市でどれだけの先生たちがこの法律を知っていることでしょうか。全国の教育委員会に発信されても、地域によって周知の格差があります。

福津市には、教育委員会が設置している教育支援センター(旧適応指導センター)「ひだまり」がありますが、実際の利用者はほんの数人です。学校教育の延長線上の内容なので、子どもが利用しにくいのが現実です。

公的な運用でも関東では、公民協働でこどもに寄り添う形でのカリキュラムに変えたり、ただいだけでもいい、子どものニーズに合わせた支援をしています。フォーラムに参加して、地域の温度差を感じずにはられませんでした。

本気で子どもの居場所を、ひとりでも目の届く支援をと考えているのなら、今一度環境を見直してほしいと思います。(Y・K)

※フリースペース: 子どもを学校外で受け入れる場所・空間。



「～出席扱いって?～」

※フリースクールやフリースペースへの参加を学校の出席日数に入れる“出席扱い”は、学校長裁量で決めると聞いています。

分科会で、「出席扱いにならないって、地域で子どもを認めてもらってないように感じる」という保護者の思いが紹介されました。「子どもが安心していられる場所が学校にないからここにいるのに、子どもの人格を無視されているように思う」と。しかしこのフリースペースでは、教育委員会との情報共有や連携強化して、さかのぼって出席扱いになったといいます。

福津市にも、学校外の学びの場を求める子どもがいます。公共施設でのフリースペースの実施と出席扱いができないかと思いました。(Y・M)



☆ネットで話そう☆

田中じゅんこの初議会のドキドキや生活って政治を実感する議会の話をしましょう。出入り自由です。
日時: 5月14日(火) 10:30~15:00
場所: ネット・福津事務所

☆ニュース配布ボランティア☆

議会後にニュースを発行しています。(年4回)
☆散歩の時に☆ご近所だけ
☆10枚でも
電話: 42-2973 までご連絡下さい。

☆2019年度ネット会員募集中☆

年会費 1500円
議会や学習会の案内を差し上げます。
ふくおか市民政治ネットワークは、会費・カンパ・議員報酬からの寄付で活動しています。